

ベルリン大攻防戦＜第4部 ベルリンの戦い／第5部 最後の突撃＞（1971）

OSVOBODZHENIE: BITVA ZA BERLIN
THE BATTLE FOR BERLIN
POSLENDNYI SHTURM

メディア 映画
ジャンル 戦争
製作国 ソ連
色彩 Color
時間 160分
初公開日 1972/08/12
公開情報 松竹映配

【キャッチコピー】

ナチス・ドイツ最期の牙城ベルリン……

【解説】

ソ連が総力を挙げて製作した第二次大戦映画「ヨーロッパの解放」は、日本では3本に分けて公開されたが、これは最後となる3本目。全5部作のうち、第4部『ベルリンの戦い』と第5部『最後の突撃』をまとめ、このタイトルで封切った。ソ連軍はポーランドからいよいよドイツ領内へ進撃。スターリンはベルリン攻撃に向けて着々と準備を進める。一方ヒトラーもベルリン防御のために最後の大軍団を配置。そして、ベルリン郊外で大激戦が展開されるが、ついにドイツ軍は敗れる。このあたりまでが第4部。第5部は、ソ連軍がベルリン市内へ突入しての大市街戦。地下鉄のトンネルに水を流し込むなど最後の抵抗をしたヒトラーだったが、敗北を悟り、自殺を遂げる。その間にも市街戦は続き、ソ連軍は激戦の末、国会議事堂に赤旗を掲げ、ついに勝利を勝ち取るのだった……。冗長で退屈なことは第1部～第3部と変わらないが、市街戦の部分に変化があるだけ、多少は面白いかもしれない。

【クレジット】

監督	ユーリー・オーゼロフ	Yuri Ozerov
脚本	ユーリー・ボンダリョフ	Yuri Bondarev
	オスカル・クルガーノフ	
	ユーリー・オーゼロフ	Yuri Ozerov
撮影	イーゴリ・スラヴネヴィチ	
音楽	ユーリー・レビティン	Yuri Levitin
出演	ニコライ・オリャーリン	
	ラリーサ・ゴループキナ	Larisa Golubkina
	フリッツ・ディッツ	
	ブフティ・ザカリアーゼ	